



ラリー・ウィリアムズのパートナー なりた・ひろゆきと

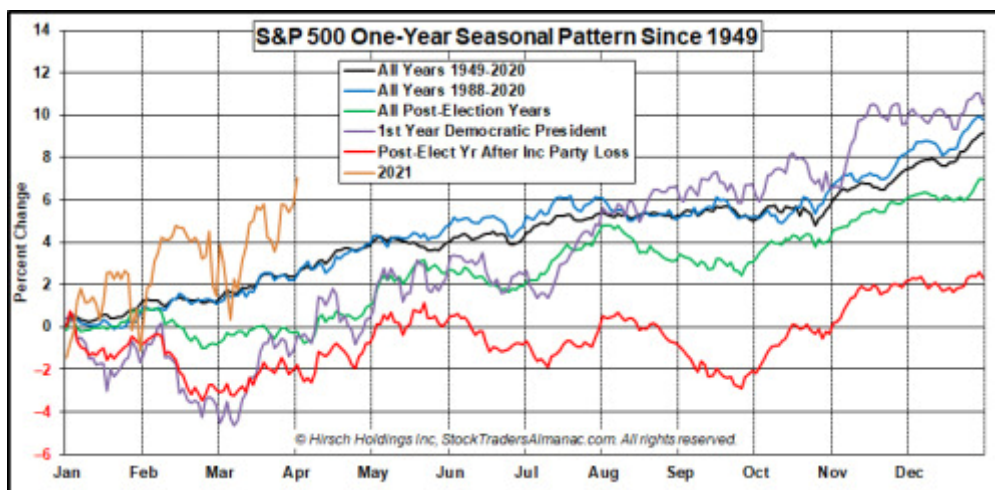
米アノマリーの第一人者、エール・ハーシュのあとを継いだ ジェフリー・A・ハーシュによる
主要市場を分析した最新相場予測レポート！

▼▼▼ご購入の詳細はこちら▼▼▼

<http://trs.jp/p/5962/2011411200000>

2021年4月5日

End Best Six Months Rally Sets Up “Sell in May” ベスト6ヵ月間の終焉は“5月に売れ！”



1949年以降のS&P500のシーズナルパターン

上記のチャートを見ればわかるように、3月15日以降の弱さは、歴史的な季節性周期に流れに沿ったものである。トリプル・ウッチングの翌週と3月末の弱さは、このブログでも解説してきたように典型的なもので、ストック・トレーダーズ・アルマナック(STA) 2021年版にも詳細が記載されている。3月の最後の数日間は、第1四半期末の売り圧力に屈することが多いが、3月下旬の弱さは4月上旬に回復することが多い。4月の最初の数日間の取引で、すでにその成果が出ている。

ベスト6ヶ月間の最後の月がやってきた。そこで、長年の読者の皆様には復習を、また最近参加された方には入門編をお届けする絶好のチャンスである。当社は、単に「5月に売って終わり」ではない。ベスト&ワースト月間のスイッチング戦略を実行するために、より微妙で繊細なアプローチを採用している。現在、売りシグナルは発動していない。

4月1日以降に発生する可能性のある「6ヶ月間のベストシーズン MACD 売りシグナル」の準備をするにあたり、いくつかの要因と戦略の側面を確認しておきたい。ダウとS&P500の「ワースト6ヶ月間」は5月から10月までの期間。ナスダックの「ワースト4ヶ月間」は6月から10月までの期間である。当社は、4月1日以降、MACDのシーズナル売りシグナルのために、ダウとS&P500の「ベスト6ヶ月間」を追跡中である。ナスダックについては、6月1日以降にMACDによる「ベスト8ヶ月間」の売りシグナルを探すことになる。

4月1日以降、ダウとS&P500に適用されているMACD売り指標がクロスオーバーし、新たな売りシグナルが発動された場合、シーズナルMACD売りシグナルを発行する。ナスダックのベスト8ヶ月間のMACD売りシグナルは、6月1日以降に発行する予定である。売りシグナルの過去の日付は、ウェブサイトの「当社の戦略」タブの表で確認できる。

ダウとS&P500の季節的な売りシグナルを発行すると、トレーダーズ・アルマナックの会員には、その日の引け後にアラートメールが届く。その際には、関連するポジションを完全に売却するか、タイトなトレーリングストップロス置く。また、iシェアーズ7-10年債(IEF)、iシェアーズ20年以上債(TLT)、iシェアーズ・コア・USアグリゲート・ボンド(AGG)、バンガード・トータル・ボンド・マーケット(BND)、プロシェアーズ・ショート・ダウ30(DOG)、プロシェアーズ・ショート・S&P500(SH)などの防衛ポジションの追加も検討する。

その際、現在保有しているすべての株式やETFを再評価する。弱いポジションや不調なポジションを解消したり、ストップロスを引き上げたり、新規の買い付けを制限したりすることができる。また、ワースト6ヶ月間に好成績を収めたセクターのポジションを追加、ディフェンシブ銘柄の新しいバスケットを会員に提示する。

第1四半期末のプレッシャーが軽減された今、4月はいつものように上向きのパフォーマンスが期待できる。実際、最近の弱さは4月の上昇相場に適している。4月の上げでは、ベスト6ヶ月のMACDシーズナル売りシグナルがしっかりと設定されることになる。過去31年間でS&P500の損失は7回のみで、4月は安定したパフォーマンスを示している。4月は第2四半期の最初の月であり、新たな収益シーズンを迎える。これは、新型コロナウイルスの影響を受けた昨年の数字よりも前年比が改善されるはずで、株価の上昇につながることを期待される。